

東日本大震災被災地（岩手県釜石市・大槌町）派遣報告

目的：現地避難所・施設での歯の状況および歯科ニーズについて情報収集

日時：平成23年5月16日（月）から19日（木）まで

場所：5/16 安渡小学校（避難所 大槌町）

5/17 三陸園・ケアプラザおおづち（介護老人保健施設 大槌町）

5/18 大槌高校（避難所 大槌町）

5/19 仙人の里（特別養護老人ホーム 釜石市）

●釜石市・大槌町の歯科医療状況

- ・釜石市の歯科診療所では18施設中9施設で現在歯科診療を再開しています。
- ・大槌町内に歯科診療所が6件ありましたが、震災による被害により診療を再開している歯科診療所は5月13日現在ではありませんでした。
- ・その代わりとして、4月18日より大槌町仮設役場付近に仮設歯科診療所を開設し、大槌町で開業されていた4名の歯科医師により交代で診療をされています。
- ・岩手県歯科医師会は4月1日より、遺体検案の確認業務をはじめ、口腔ケア、簡単な歯科治療、歯科健診、歯科相談等の活動を現在まで交代制で実施されていました。

●避難所での歯科に関する要望

- ・義歯を調整してもらいたいが、近くに歯科診療所がないので困っている。
- ・治療の途中だったが、歯科医院が震災で流されて治療できない。
- ・総入れ歯を震災で失い、十分に食事がとれないので何とかしてほしい。

●その他

- ・震災直後に不足していた歯ブラシ・歯磨剤は現在は十分に足りているが、デンタルフロスや歯間ブラシなどは、要望がないために避難所には配られていないということです。
- ・避難所では子どもがひっきりなしで間食（スナック菓子等）を摂っていたので、むし歯等が増加するのではないかと心配です。
- ・今回訪問した介護老人保健施設「三陸園」では、5月14日より施設でも水が使えるようになり、やっと歯が磨けるようになりました。それまでは自衛隊からの配給だったので、トイレの水も流せず、歯をガーゼを濡らして拭く程度だったそうです。
- ・介護老人保健施設で213名の方に歯科健診を実施したところ、治療必要な方13名、口腔ケア必要な方39名という状況でした。



左：避難所となっている学校

グラウンドが駐車場となっており、夕方になると仕事から帰られるため、自動車でいっぱいになるということです。

右：学校からの風景



左：保健所での入口には、安否や連絡を伝える場所が設置されていました。

右：大槌町の災害対策本部

役場は震災で倒壊したため仮設の建物で対応されていました。この裏手に仮設の歯科診療所が設置されていました。



左：岩手県歯科医師による老人施設での歯科医療風景

右：岩手県歯科衛生士会による老人施設での口腔ケア活動風景

今回の情報収集にあたり、被災地の巡回診療を実施している岩手県歯科医師会・歯科衛生士会にご協力いただきました。